

令和7年度 学習分析事業 課題改善シート 三原市立木原小学校

【別紙1】

1 本年度の結果

①全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	算数	理科
前年度結果 (対全国比)	69 (101)	70 (108)	()
本年度結果 (対全国比)	86 (129)	88 (152)	65 (114)

②学習環境調査 icheck 【個人の心の安全 自己肯定感×学級適応感】

		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
A	人数(人)	2	2	2	2	3	3	4	4	2	3	1	1
	割合(%)	100	100	100	100	100	0	100	100	50	75	100	100
B	人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0
C	人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	0	0
E	人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③学習環境調査 icheck 【クラスの成長力 規律と思いやり×発信力】

		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月
A+B型	人数(人)	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	1	1
	割合(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
A+C型	人数(人)	2	2	2	2	3	3	4	4	3	3	1	1
	割合(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	75	75	100	100
A+D型	人数(人)	2	2	2	2	2	3	4	4	3	3	1	1
	割合(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	75	75	100	100
B+D型	人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	0	0
C+D型	人数(人)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0

④学力定着調査(R6 NRT、R7標準学力調査)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		国語	前年度結果 標準値並立 本年度結果 標準スコア	61.4	57.4	50.3	51.3
算数	前年度結果 標準値並立 本年度結果 標準スコア	60.8	63	55.3	60	51.6	54.9
理科	前年度結果 標準値並立 本年度結果 標準スコア			56.4	61.1	56.6	54.7

2 本年度の取組について

①調査から明らかになった課題

【全国学力・学習状況調査をうけて】	【標準学力調査をうけて】
<p>1 国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報と情報との関連付けの仕方がわかること ●図などによる語句と語句との関係の表し方を理解すること ●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと <p>2 算数科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じてグラフを適切に選択し、その理由を言葉や数値を上げて書くこと ●五角形を2つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書いて説明すること ●図形の面積で、補助線を入れ、何を尋ねられているかを把握して図と問われている内容を対応させながら考えること <p>3 理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物の性質、磁石の性質や電流の回路についての知識の定着 ●植物の花のつくりや成長、結実についての知識の定着 ●既習の内容や生活経験をもとに根拠のある予想を表現すること 	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科、算数科ともに平均正答率が100%であった。 <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることに課題がある。 ○算数科は平均正答率が100%であった。 <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物語文を読んで、感じたことや考えたことを共有することに課題がある。 ●グラフから必要な情報を取捨選択したり、整理したりする力に課題がある。 ●太陽と地面の様子から、影のできる方向を予想する力に課題がある。 <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手に伝わるように理由や事例を挙げながら話すことに課題がある。 ●針金のきまりを理解し、式と言葉と結び付けて考える力に課題がある。 ●乾電池のつなぎ方と車の動き方を予想して作図する力に課題がある。 <p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的や意図に応じて伝えたいことを明確にして書くことに課題がある。 ●単位量当たりの大きさで、構成する数量との関係を理解する力に課題がある。 ●別種の植物を比べ、つくりの相違点を論述する力に課題がある。 <p>6年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を整えて書くことに課題がある。 ●分数のかけ算、わり算のきまりを使って問題を解く力に課題がある。 ●動物の体のつくりについて、その働きや仕組みを理解することに課題がある。
<p>【icheck 1回目をうけて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【学級の絆】について全国平均以上の児童は87.5%であった。 ●レーダーチャートによる標準スコアの平均は、どの学年も55P以上であった。 ●【個人の心の安全】については、低・中学年はA領域に全ての児童が所属していた。高学年は、A領域が60%、B領域が20%、D領域が20%の所属率であった。 ●【クラスの成長力】については、1年、2年、4年、6年は全ての児童がA領域に所属していた。全体の傾向として、A領域に属している児童は87.5%、B領域、C領域に属している児童はそれぞれ6.25%であった。 	<p>【icheck 2回目をうけて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【学級の絆】について全児童が全国平均以上であった。 ●レーダーチャートによる標準スコアの平均で全国平均以上の学年は、1年・2年・3年・4年・6年であった。 ●5年は、レーダーチャートによる標準スコアの平均で全国平均のスコアを下回った。 ●【個人の心の安全】については、低・中学年はA領域に全ての児童が所属していた。高学年は、A領域が75%、D領域が25%の所属率であった。 ●【クラスの成長力】については、1年、2年、3年、4年、6年は全ての児童がA領域に所属していた。全体の傾向として、A領域に属している児童は87.5%、B領域、C領域に属している児童はそれぞれ6.25%であった。

②課題改善に向けた学校組織全体の重点目標・取組

取組(上記課題を踏まえたもの)	具体的方策(継続して取り組めるもの)	検証指標及び時期
<p>【全国学力・学習状況調査の結果から】</p> <p>1 国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章や図などで表された情報の的確な理解を図る。 ●文章全体の構成を捉えて要旨を把握できるようにする。 <p>2 算数科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフの読み取りの習熟を図る。 ●図形の面積の求め方の習熟を図る。 <p>3 理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物質・エネルギー、「生命」についての知識の定着を図る。 	<p>1 国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報を取り出し、思考ツール等を使って、整理したり、その関係を見えさせたりする。 ●文章を読む際に大切な言葉やキーワードを丁寧に捉えさせるとともに、文章全体の構成を考えさせる。 <p>2 算数科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々なグラフの読み取りを進める中で、そのグラフから得た情報を根拠をもとに整理分析する学習を行う。 ●図形を構成する要素や図形間の関係などに着目させながら、図形の面積の求め方を筋道立てて説明する活動を行う。 <p>3 理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観察や実験の結果を自分の身の回りの事物や現象と結び付けて考えることを積み重ねる。 	<p>1 国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学力調査の全国・市平均に対する到達度(100% 2月中旬) ●学期末まとめのテストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 学期末) <p>2 算数科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学力調査の全国・市平均に対する到達度(100% 2月中旬) ●学期末まとめのテストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 学期末) <p>3 理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学力調査の全国・市平均に対する到達度(100% 2月中旬) ●学期末まとめのテストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 学期末)
<p>【標準学力調査から】</p> <p>1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特記事項なし <p>2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える力をつける。 <p>3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●詩や物語などを読み、考えたことなどを伝え合う力をつける。 <p>4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理由や根拠を明確にしなが、話したり聞いたりする力をつける。 <p>5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的や意図に応じて伝えたいことを明確にする力をつける。 <p>6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を整えて書く力をつける。 	<p>1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特記事項なし <p>2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や登場人物の行動などを丁寧に読み取る学習活動を積み重ねる。 <p>3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内容を正確に読み取らせ、自分の考えや感想を書く時間と交流する時間を保障する。 <p>4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理由や根拠をつけて聞く、話す、書く活動を継続して行う。 <p>5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成メモの内容を吟味し、それを活用して書くことを継続する。 <p>6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成メモを活用し、目的を明確にして、書き表し方や各構成の内容を整理しながら書く取組を継続する。 	<p>1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年末テストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 3月) ●来年度の標準学力調査の全国平均に対する到達度(100% 2月中旬) <p>2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年末テストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 3月) ●来年度の標準学力調査の全国平均に対する到達度(100% 2月中旬) <p>3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年末テストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 3月) ●来年度の標準学力調査の全国平均に対する到達度(100% 2月中旬) <p>4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年末テストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 3月) ●来年度の標準学力調査の全国平均に対する到達度(100% 2月中旬) <p>5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年末テストで、全国平均以上を到達した児童の割合(85% 3月) ●来年度の標準学力調査の全国平均に対する到達度(100% 2月中旬)
<p>【icheck(1回目・2回目)から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業や縦割り活動、学校全体での行事の中で、個人の良さを大いに褒め、認め、自覚させる取組を大切にす。 ●様々な活動への見直しを事前にもたせながら、安心して取り組めるようにする。 ●相手の気持ちや想像できるような声かけを意図的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【校内いいとこみつけ活動】の学期ごとの実施と全校掲示 ●SCによる授業観察と個人面談並びに教職員への提言 ●週1回の「全校みんな遊び」、校内児童アンケート(いじめ)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●【学級の絆】について全国平均以上(85%) ●各学年のレーダーチャート標準スコア(55P以上) ●【個人の心の安全】でA領域の児童(85%)